



eriko kitagawa

北川悦吏子



恋愛の神様

eriko kitagawa

作者隨筆 沢山の仲 遊開、

●北川悦吏子（きたがわえりこ）

シナリオライター。1961年12月24日生まれ。早稲田大学卒。

代表作に「素顔のままで」「あすなろ白書」「君といた夏」「愛していると言つてくれ」「ロング バケーション」「最後の恋」「オーバー・タイム」「ビューティフルライフ」など。エッセイや作詞の分野でも人気を集めている。

本書は、「ザテレビジョン」('99年2号(1/15)~)に連載された「イヌも歩けばネコも歩く」('00年2号より「イヌも歩けばビューティフルライフ」に改題)に加筆・修正し、まとめました。

恋愛の神様



北川悦吏子

2000年3月24日 初版発行

2000年6月15日 第3刷発行

発行者／角川歴彦

発行所／株式会社角川書店

東京都千代田区富士見2-13-3 〒102-8077 振替 00130-9-195208

TEL 営業03-3238-8521 編集03-3238-8409

DTPワーク／株式会社ローヤル企画

印刷所／暁印刷

¥1200

製本所／株式会社コオトブックライン

落丁・乱丁はご面倒でも小社営業部受注センター読者係宛にお送りください。送料は小社負担でお取り替えいたします。

©Eriko Kitagawa 2000 Printed in Japan

ISBN4-04-883619-6 C0095

恋愛の神様



contents

ドラマタイトルのつけ方。

「オーバー・タイム」の泥沼タイム

言葉があるから人間関係はややこしい？

この世のものとは思えない美しさに慣れる日は？

考え直される私たちの人生

奇跡の起きる時

大変なことになつている私

男女の友情は成立するか？

無くした恋ばかりが愛しい

電話の線、元から抜かれたことがありますか？

男と女の話を他人にしてはいけない

心まで風邪をひいてしまつた

「オーバー・タイム」打ち上げとその後

どうも食べ物に弱いらしい私。

60 56 52 48 44 40 36 32 28 24 20 16 12 8

僕はここにいるⅠ

僕はここにいるⅡ

魔性の女の秘密

四畳半でハエを追う

恋の消防活動

恋におちたシェイクスピア

Eメール考

Eメールについて。再び。

ドラマ勉強会！

人の評価、ということ

しあわせの風

人の評価ということ、再び

拓哉くんに会った。

「菊次郎の夏」

116 112 108 104 100 96 92 88 84 80 76 72 68 64

憧れ

しあわせの在りか

フジテレビ、夏のパーティー

ヒーリング系の女になる

説教をする人、しない人

くねくね女がやつて来る

点滴的人生

説教をする人、しない人。再び

才能の定義

物をぶちまけられる女

しつけとダイエットは似ている

説教する人のありがたみ

私が求めて来たもの

ある一日

172 168 164 160 156 152 148 144 140 136 132 128 124 120

人の気を引く

素敵な人の四畳半は愛しい

解禁！

プレッシャーとは…？

男の人は、ただのおしゃべりの相手に救われたりはしないのだ

デヴィ夫人と呼ばれて

車椅子に乗った。

青春は終わってしまったか？

ラブストーリーが始まる。

行けるけど帰れない道

あとがき

216

212 208 204 200 196 192 188 184 180 176



文中写真撮影
北川悦吏子

カバーアートレーショングラフィック
アランジアランゾ

装丁
高橋雅之 (タカハシデザイン室)

編集
服部旬子 (角川書店)

制作進行
大場晃 (角川書店)

恋愛の神様



ドラマタイトルのつけ方。

みなさん、初めまして。脚本家の北川です。つてまるで制作発表の挨拶みたいだけど。

「オーバー・タイム」は、見ていただけましたでしょうか？ 感想はいいです。こわいっす。

さて、今度のドラマのタイトル「オーバー・タイム」ですが、これはフジテレビの亀山（千広）さんがつけました。人のつけたタイトルでドラマを書くのは久々です。「愛していると言つてくれ」から「ロングバケーション」「最後の恋」

まで自分でつけてました。ちなみに「愛していると言つてくれ」の時、TBSの貴島（誠一郎）さんは「愛ある限り……」というのはどうでしょう、北川さん、と言いました。豊川（悦司）さんは「愛していると言えない」というのは、どうでしよう、と言いました。

きっと、ふたりとも今は、もう忘れていると思うが、私は覚えている。それを、喧嘩にならないように、その場では感心したふりをして、次に会った時には忘れたりをする、というのが、私のやり方です。

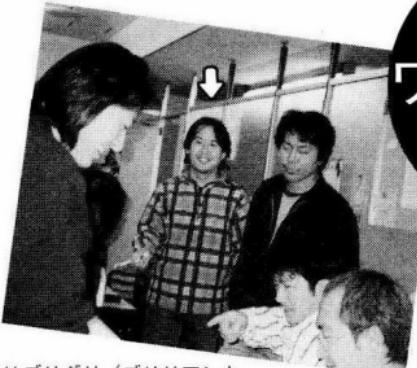
「ロングバケーション」の時も「星に願いを」とか出てたな。そして、あの「何をやつてもダメな時は、神様がくれた休暇だと思って、走らない、焦らない、がんばらない」というセリフは、実は前から考えてたものでは全然なくて、ディレクターの永山（耕三）さんが「北川さあ、ロングバケーションってどういう意味だつて、見てる人みんな思つてるから、早いとこ説明した方がいいよ。『白線流し』はさ、白線流しつて何なのか、最終回までわかんないんだよ」と言つた

ので、あわてて2話でタイトルを説明するシーンを作りました。

神様のくれた休暇というフレーズは、その時、ヒヨコント出したもので、こういうの、瓢箪から駒つて言うんでしようね、多分。

さて、今回のタイトルのいきさつは。ある日、亀山さんが電話をかけてきて、その頃、汚職疑惑の代議士とかいい大人が挫折しどうしき自殺していたのを見て、なんであいつら生きて恥をさらさないんだ、といつになくシリアルに言つたことでした。

「オーバー・タイム」というのは人生における「延長戦」という意味です。



この後、私はブリグリ（ブリリアント
グリーン）を観に行きました

撮影初日のスタッフルームの風景です。みんなわざとらしく恰好つけてくれました。

中央矢印が、今回のチーフディレクター、武内（英樹）さんです。「神様、もう少しだけ」など撮った人です。もてるそうです。自分で言っています。ホントかどうかはわかりませんが、なんとなく可愛げのある性格なので、実在かも、とい

う気がして来た今日この頃です。フジテレビの制作スタッフはみな、小綺麗です。昔の映画の助監督などは、薄汚れて、貧乏臭かつたですが。そう言えば、「愛していると言つてくれ」で、TBSで初めて仕事をした時に、TBSのスタッフの男の子が「やっぱり、フジに比べて、ダメですかね：僕ら」と言つたのが、印象的で好感が持てました。



「オーバー・タイム」の泥沼タイム

寒い冬が続きますが、みなさんお元気ですか？

私は心身共にボロボロです。

長年にわたる連続ドラマ執筆のせいです。いつか言つてたなあ……、友人の女流脚本家が。「早くフけるよね私たち、こんな無茶な仕事してれば」と。

「オーバー・タイム」、オンエアは今3話ですが、私が書いている台本はもう7話です。だんだん、回を追うごとに、話が煮詰まってきて面白くなつて行きます。自画自賛。宣伝。公私混同。

で、話が煮詰まつてくるにつれ、けつこうなセリフが飛び出しているんです。たとえば「キスってさあ、唇の固い男の人があまいよね」とか、「キスのしそぎで唇が腫れた」とか。どれもこれも冬美（石田ゆり子）のセリフですが。こんなことを書きながら、私はとても不安です。ホントでしょうか？確かめる術がありません。打合せで「どう？」とか軽く聞きたいとも思うんですが、スタッフはみんな男なんです。聞き返されたらどうしよう、と思うとついつい鈍ります。女の本音を確かめる場所を私は持てません。そういうことを語り合えるともだちもいません（そういうことは、語り合わない）。おともだちも「[も] って何だ？」「[も] って」、みんな品が良く、シモネタ等は、御法度でした。

でも、とうとう宗一郎（反町隆史）と夏樹（江角マキコ）は、寝るか？寝てもともだちでいられるか？という大テーマにぶつかった時、私にはTOO HEAVYだったのです。（男の人たちはみんなそんな経験があるらしい）試しに女ともだちに電話して聞いてみました。「寝てもともだちってことある？」

すると、彼女のリアクションは、「……（しばし黙る）。ごめん。なんか今、ぜんぜん知らない国の言葉しゃべられた気がしたもんだから」。やつぱり、私も、今、ディズニーランドのミッキーマウス相手に恋について聞いた気がしたよ。

どつかに、愛と性のプロフェッショナルの失樂園みたいなともだちはいないのか？ああ、恋から遠い。こんなともだちばつかかい！（自分も含めて）

そして、私は毎週、渋谷ビデオスタジオに出かけて行つて、情け容赦ない業界の遊びまくつてる男の人たちの恋愛論を聞かされて、心身共にボロボロになつていいくのでした。書くのもキツイけど、その手の話を、人と（特に異性と）し続けるのもつらいよ。私も刑事物でも書けばいいのかなあ、書けないって。だよね、はい。

ドロドロしたラブストーリーは苦手だ。いや、見るのは結構好きだけど、自分が書くのはちょっと。やっぱり切ないラブストーリー。切実だけど、重くない。これがキイワード。